

これから再就職を考えている皆様へ

ハローワーク熊谷 給付係作成

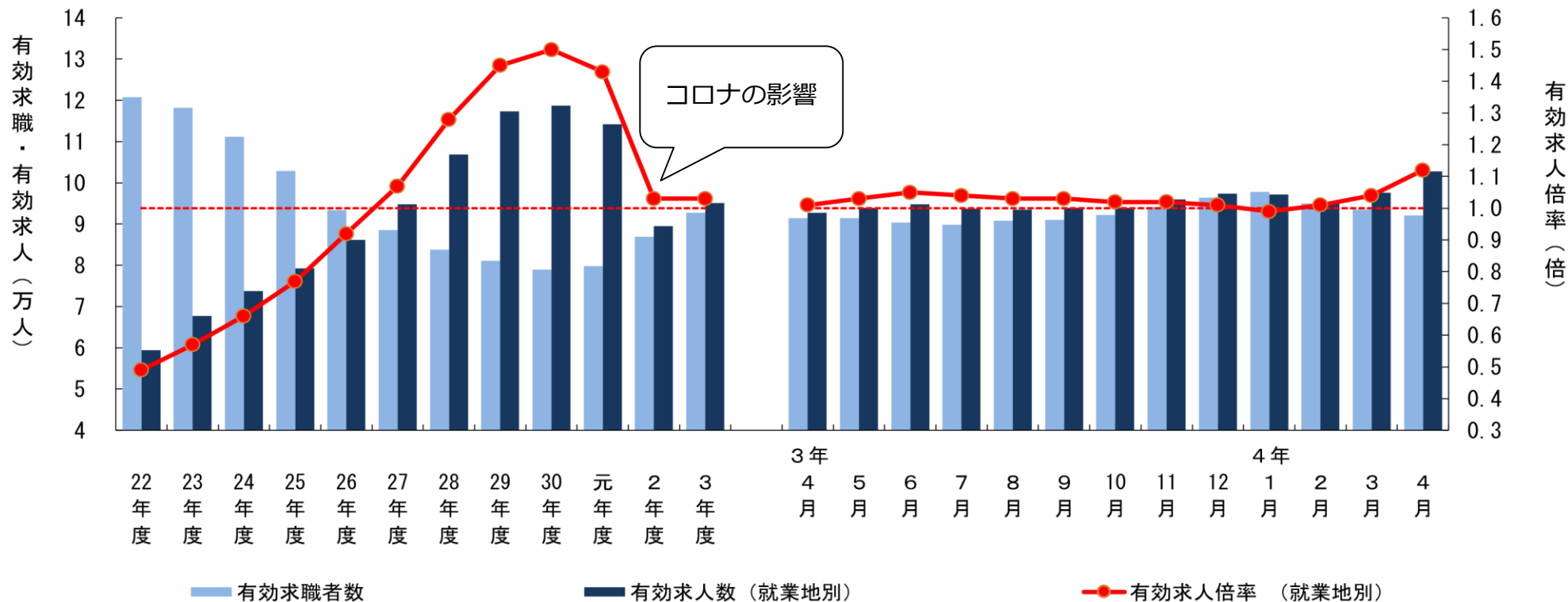
※ R 4 年 6 月 発行

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

- コロナの影響はどのように受けているのか？
- 雇用保険受給資格者の早期再就職件数割合
- ハローワーク熊谷の早期再就職状況について
- 早期再就職のメリット
- 再就職手当、就業促進定着手当支給の流れ

コロナの影響はどのように受けているのか？

求人・求職及び求人倍率の推移



（注1）有効求人倍率と新規求人倍率は、就業地別（埼玉県内を就業地とする求人数を用いて算出した求人倍率）の季節調整値。

（注2）有効求人数と新規求人数は、就業地別（埼玉県内を就業地とする求人数）の季節調整値。

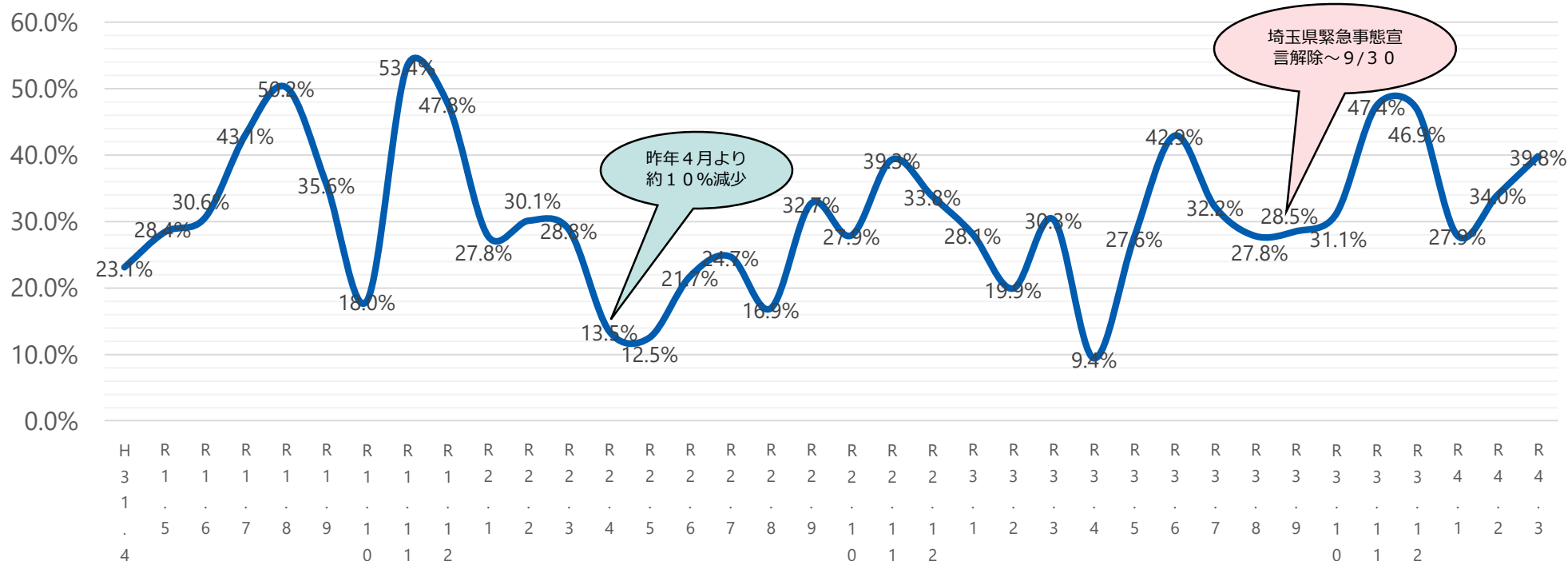
（注3）求人数及び求職者数は、ハローワークに登録している求人数及び求職者数であり、ハローワーク以外の手段（民間の職業紹介事業者、求人広告等）による求人数及び求職者数は含まれていない。

（注4）ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれている。

雇用保険受給資格者の早期再就職件数割合

ハローワーク熊谷の早期再就職割合

—熊谷



※早期再就職件数とは所定給付日数の3分の2以上残して（待機期間中や給付制限期間中を含む）就職し、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数

ハローワーク熊谷の早期再就職状況について

新型コロナウイルスの影響

ページ4のデータはH31年4月～令和3年3月までの期間となっており、平成31年度はハローワーク熊谷では早期に再就職されている方の割合が50%を超える月もありました。しかし、新型コロナウイルスが蔓延し始めた令和2年度は前年度、翌年度と比較して再就職の割合が減少しており、令和2年4月の再就職割合は昨年度比約10%の減少となっています。ただ、令和3年6月頃を境に持ち直しの動きが見られ、6月以降はほぼ毎月前年度を上回っています。

今後の就職状況について

令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、再就職が難しい状況ではありましたが、求人倍率も徐々に回復しつつあり、持ち直しの動きが見られます。しかし、未だ求職者が引き続き高水準にあるため、新型コロナウイルスが雇用に与える影響により一層注意する必要があります。

求職者の状況（原数値）

希望雇用形態別新規求職者数

23,282人 前年同月に比べ4.1%減少

フルタイム 13,662人 前年同月に比べ5.7%減少

パート 9,620人 前年同月に比べ1.6%減少

※埼玉労働市場ニュース令和4年4月分より掲載



早期再就職のメリット

メリット①

- 失業手当の所定給付日数の3分の1以上残した状態で就職が決定すると、再就職手当が支給される可能性があります。給付日数が残り3分の1以上なら支給残額の60%、残り3分の2以上なら70%にあたる金額が一括で支給されます。つまり、早期に再就職することによって、再就職手当の給付率は高くなります。

メリット②

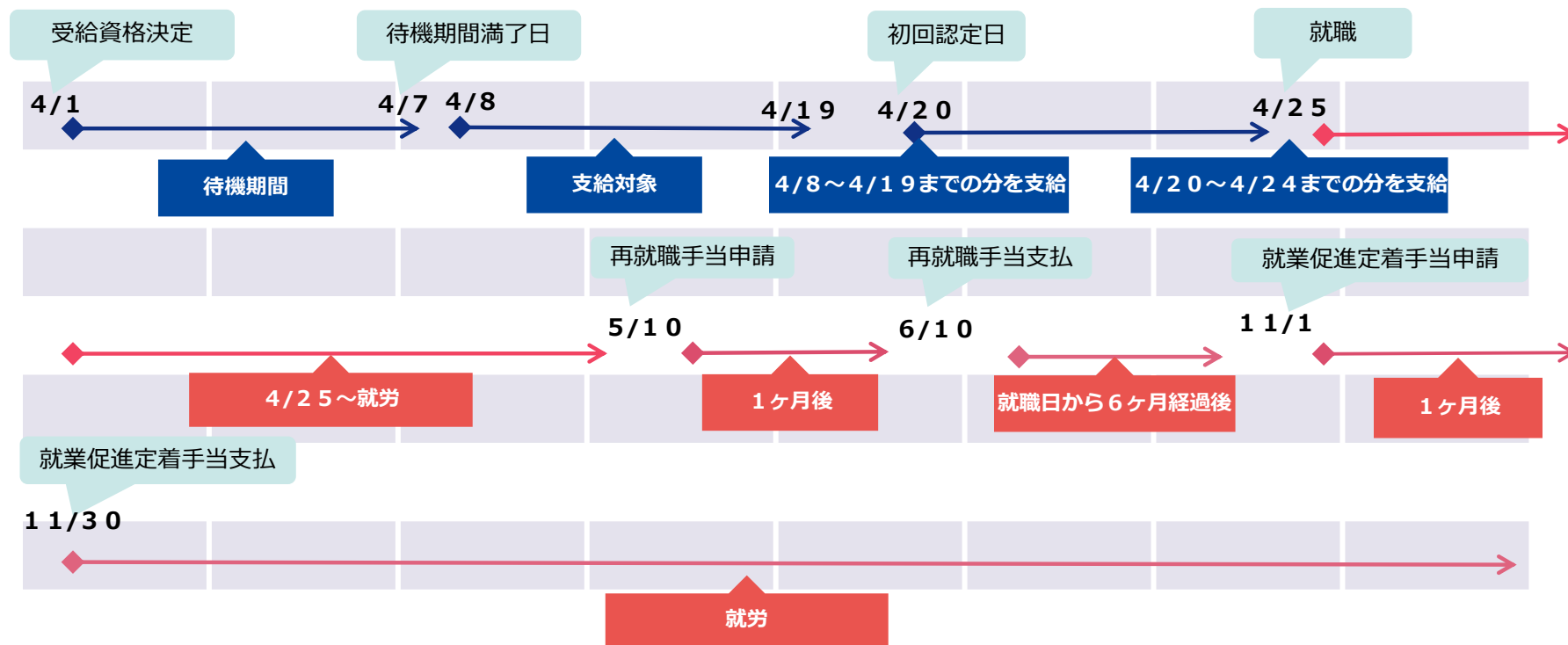
- 再就職手当の支給を受けた方で、再就職先に6ヶ月以上雇用され、再就職先での6ヶ月間の賃金が、離職前の賃金よりも低い場合に、就業促進定着手当が支給される可能性があります。支給額は失業手当の支給残日数の40%、再就職手当の給付率が70%の場合は30%を上限として、低下した賃金の6ヶ月分の支給を受けることができます。

メリット③

- 早期に就職することで再就職先から給与も支給される上に、非課税の再就職手当、就業促進定着手当も受けられるので失業手当をもらっている時よりも収入面は安定する可能性が高いです。また、再就職することで「失業状態」という不安からも抜け出すことができます。経済的な安定を得られること、精神的な不安を払拭できること。これが一番大きなメリットだと思います。

再就職手当、就業促進定着手当支給の流れ

(例) 4/1が受給資格決定日 4/25～就職の場合



※再就職手当、就業促進定着手当の確認には1ヶ月～2ヶ月程度要しますが確認ができ次第、自宅に支給決定通知書をお送りします。
(要件を満たしていない場合は不支給決定通知書) ※上記表は給付制限がない場合となります。